

校訓
誠実・節度・実践

福井市学校教育目標 郷土福井に誇りを持ち、たくましく生きる子どもの育成

令和3年度 明倫中学校 スクールプラン

<保護者の願い>
 学校では以下の力を身に付けてほしいと考えている。
 ・課題解決に向けて計画を立てる力
 ・コミュニケーション力
 ・物事を多面的に考える力
 ・物事に粘り強く取り組む力

<地域の願い>
 ・地域づくりを担う子どもになってほしい。
 ・伝統校としての自負を持ち更なる成果を生み出す学校であってほしい。

<生徒の実態>
 ・自分の考えを持つことができるが、積極的な発信、自己表現が弱い。
 ・言われたことを真面目に落ち着いて取り組む。
 ・間違いを恐れる傾向がある。
 ・主体的な探究意欲が低い。

【学校教育目標】 未来を切り拓く生徒の育成

【目指す生徒像】

知識・技能

思考力・判断力・表現力等

学びに向かう力・人間性等

活用可能な生きて働く知識を身に付けた生徒

知識を活用し最適解を見出せる生徒

持続可能な社会づくりに参画しようとする生徒

<育成を目指す資質・能力>

学習の基盤：言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力

明倫キーワード：主体性（エージェンシーに通じる）

- ・知識を構造化、関連付けする力
- ・読解力
- ・他者を理解し尊重する力
- ・心身の健康を管理する力

往還

- ・論理的な思考力
- ・批判的思考力
- ・他者とよりよく対話する力
- ・創造性

往還

- ・探究心、向上心
- ・見通しを持ち粘り強く取り組む力
- ・他者と協力して課題解決しようとする力
- ・地域参画力

<具体的な取組>

◎「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善・教育活動の実践

◎教科横断的な学習の充実

◎家庭・地域との連携

- ・基礎・基本の必要性を理解させながら、その定着を図る
- ・知識の構造化や関連づけを促す授業や教育活動を実践する
- ・ICTの活用→積極的に授業に導入する
- ・道徳や特別活動を通して、望ましい人間関係の構築や居場所・絆づくりを図る
- ・望ましい生活習慣や人間関係づくりを通して、心身の健康を支援する

- ・道徳・特別活動・部活動等教育活動全体で、意見交換や議論する場面を多く設定することを通して
→考えを適切に伝えることができる生徒を育成する
→考えを広げ深めることができる生徒を育成する
→よりよく合意形成できる生徒を育成する
- ・深い学びの充実と丁寧な振り返りを柱とする授業改善を実践する（研究部からの“具体的取り組み”を実践する）

- ・総合的な学習の時間の充実により
→探究的な学びを推進する
→社会や地域と向き合う（SDGsも意識）
- ・特別活動、部活動等で生徒主体の活動を推進することにより
→向上心や自己有用感を醸成する
→仲間とともによりよく課題解決できるようにする
- ・公民館との連携を通して
→地域活動への「参加から参画へ」を推進する

評価指標

（生徒アンケート等の「よくあてはまる」回答による）

- ・授業に主体的に取り組んでいる（60%）
- ・授業がよくわかる（60%）
- ・友達の良さを認め合っている（80%）
- ・お互いを理解し信頼できる友人関係が作れている（80%）
- ・先生や友達やお客様に進んで挨拶している（75%）

- ・授業で自分の思いや考えを伝え合い高め合っている（60%）
- ・授業で根拠を明確にし論理的に説明できる（40%）
- ・道徳の時間には考えを深めることができている（70%）

- ・授業では何を学ぶのか課題が示されている（75%）
- ・自分にはよいところがあると感じている（40%）
- ・学校行事や生徒会活動に積極的に取り組んでいる（60%）
- ・部活動に目標や目的を持って取り組んでいる（85%）
- ・地域づくりに主体的に関わりたいたいと思っている（45%）

【業務改善のための取組】

・学校行事、会議等の精選および効率化（職員会議は60～90分以内）

・部活動顧問副顧問分担体制

・業務の優先、劣後順位の検討と実践